

1 本校の研究課題

「ICTを活用した指導方法の工夫及び改善」

2 研究仮説

「ICTを活用することで、生徒たちの学習意欲が一層高まると共に、より理解を深め、生徒一人ひとりが生き生きと授業に参加するようになる。」

3 2年間の研究について

平成19年4月に併設型中高一貫校として開校してから7年間、本校は次のように大変恵まれたICT環境にある。

(1) 全校生徒240名全員にPCを貸与し、生徒達は授業等で個人PCを一人一台使用出来る。個人PCは、PCを活用した教科や、本校独自のMSU(Morning Skill Up Unit : 国語、数学、英語の3教科のeラーニングで、各自のペースで学習を進める。)で活用されている。

(2) 普通教室やメディアセンター等の特別教室に設置された無線LANを利用して、生徒達は個人PCをそれぞれ必要とする場所に移動し、校内各所から校内サーバーやインターネットに接続して、必要なデータをやり取りすることが出来る。

(3) 全普通6教室に教師用PCを接続した大型情報ボードを配備している。

24年度・25年度の2年間で、本校は「教育の情報化」の研究委嘱を受けた。そこで、今回の研究委嘱を契機に、先生方の日頃の授業にさらに積極的にICT機材を取り入れてもらい、生徒達が一層理解を深める授業実践を重ねることを目指した。

4 今年度の重点項目

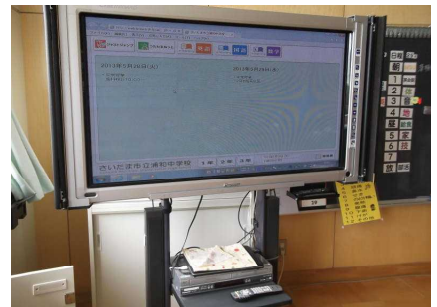
(1) 全教員が研究に参加する体制を整え、全校一丸で研究に取り組んだ。

- ア 全教員がによるICT機材を活用した授業実践
- イ ICT機材活用場面を明示した「年間指導計画」作成
- ウ 外部講師招聘によるPC研修

(2) 24年度の研究成果を受けて、教科の特性により昨年同様2つの部会(プレゼンテーション部会と協働学習部会)に分かれ、効果的なICT機材活用を研究した。



教室に保管する生徒個人PC



普通教室に配備の情報ボード

研究課題

「ICTを効果的に活用した 授業方法の工夫及び改善」

全校で研究を推進するために.....

- (1) 全教員が、ICTを活用した授業を行う
全教科、全領域で 「実践事例集」
- (2) 計画的、日常的にICTを活用した授業を行う
「年間指導計画」
- (3) PC操作の実践的研修を全職員で行う
外部講師による研修

研究組織

研究推進委員会

⇒校内研修

(1) プレゼンテーション部会

「ICT機材を効果的に活用することで、学習内容をよりわかりやすく提示して、生徒たちの理解をより深めることができる。」

英語、理科、保健体育、音楽

(2) 協働学習部会

「ICT機材を効果的に活用することで、生徒同士の意見交換を促進し、より学習を深めることができる。」

国語、数学、社会

5 25年度(2年目)の研究成果

(1) 研究発表会の実施

10月29日(火)に開催した研究発表会では、この2年間の研究成果を、MSU及びICT機材を活用した各教科の研究授業を全6クラスで公開し、多数の観覧をいただいた。

授業後は、参観者にご指導いただいた先生方と共に、全体会と分科会に分かれての研究協議を行い、研究成果と研究を通して見付かった新たな課題を明らかにした。全体会では、指導者の高久先生から「新たな学びの創造に向けたICT機材の活用」について、有益なご指導をいただいた。

分科会では、ICT機材の整備と活用について、全国各地から参加された参観者の方々と、設備、財政、アプリケーションといった様々な面から活発な意見交換を行うことが出来た。各分科会の最後に、教育研究所高久先生と清水先生から、今後のICT機材を活用した指導に関してご指導をいただいた。

(2) 本校独自の実践事例集作成

昨年度に続き、全教員がICTを活用した各教科の授業実践を行い、その実践を本校独自の「実践事例集」として、教育研究所の事例集と同書式でまとめた。事例は昨年度と全て異なるため、年度末には2年分の成果を冊子にまとめて各教科のICT機材活用の成果を共有することが出来た。



意見交換の成果をPCに入力して共有化

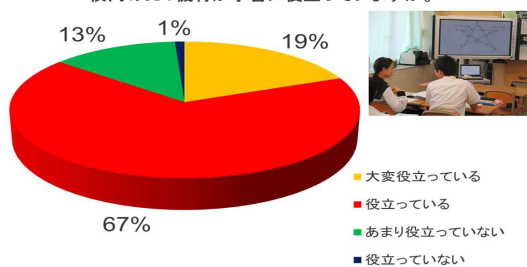
個人PC(タブレット型)にタッチペンで解答を記入



MSUの様子

研究協議会(協働学習部会)

校内のICT機材が学習に役立っていますか。



(3) 生徒達のアンケートより

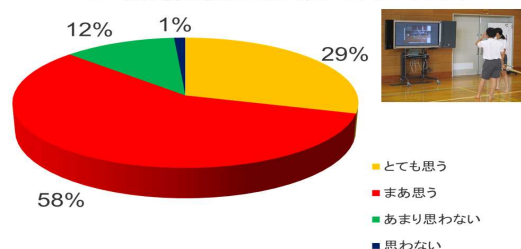
「生徒達はICT機材を活用する授業が多く実施され、それらの授業は楽しくわかりやすく、より理解を深めることが実感出来ている」ことが左記の結果からわかる。

また、「気になったことをすぐに調べることができる」、「動画を視聴できる」、「内容がわかりやすくなる」ことを、過半数から4分の3生徒達から良いとの回答が得られた。さらに、「自分専用のPCを使うことで、他の人の考えがすぐにわかると感じている」生徒たちが過半数おり、協働学習におけるICTを活用した利点である「仲間の考えを瞬時に共有することができる」という良さを生徒たちも実感している。



「実践事例集」より

ICT機材を使う授業は楽しくわかりやすいですか。



6 まとめ

研究委嘱2年目は、昨年度の成果を生かしさらに積極的にICTを活用し、全教員で生徒達が「わかった!」と実感出来る実践を重ねた。個人PCや情報ボードを活用して学習することも日常的なことになった。次年度も全教員で継続してICT機器を授業等で活用し続けるよう研修を継続したい。最後に、教育研究所富田前主任指導主事兼係長、高久指導主事、清水指導主事には、この2年間の研究推進にあたり、多大なご支援とご指導をいただいた。感謝申し上げます。